2026年1月18日(日) 山陽新聞 [全県版]

子育て理解深める

岡山で公開講座 幼児教育学生ら

地域ぐるみの子育てをテーマにした市民公開講座が17日、岡山市北区中山下の川崎医科大総合医療センターであり、子育て中の母親や幼児教育を学ぶ学生ら約40人が各成長段階での子どもとの関わり方などを学んだ。

川崎医療福祉大と川崎医科大総合医療センターが開催し、川崎医療福祉大の教員3人が講演。医療福祉学科の小川知晶講師は子育てを家族で分担したり、友人に悩みを相談したりして精神的負担を軽減するための「マイ支援チーム」の作り方を自身の経験とともに紹介し「支援を待つのではなく協力してほしいことをリストアップして頼みやすい人に相談して」と呼びかけた。

このほか夫婦で取り組む産後うつの予防方法や、子どもが安心する優しい言葉のかけ方など幼児の発達を支えるコミュニケーションスキルについての講演もあった。

就実短大幼児教育学科2年、鳥取美希さん(20)は「育児や保育に関し、大学の授業だけでは学び切れない行政支援の在り方や地域との関わりが勉強になった」と話した。(寺迫麟)

子育てについて理解を深めた市民公開講座